F500K 導通チェッカー

取扱説明書

Ver 1.0

【問合先】

UNICO SYSTEMS

株式会社　ユニコシステムズ

〒230-0051
横浜市鶴見区鶴見中央 2-20-5

TEL.　045-502-2231
FAX.　045-502-2134

(株)ユニコシステムズ

目次

概要 ---------- 2

外観図 ---------- 2

仕様 ---------- 3

画面表示 ---------- 3

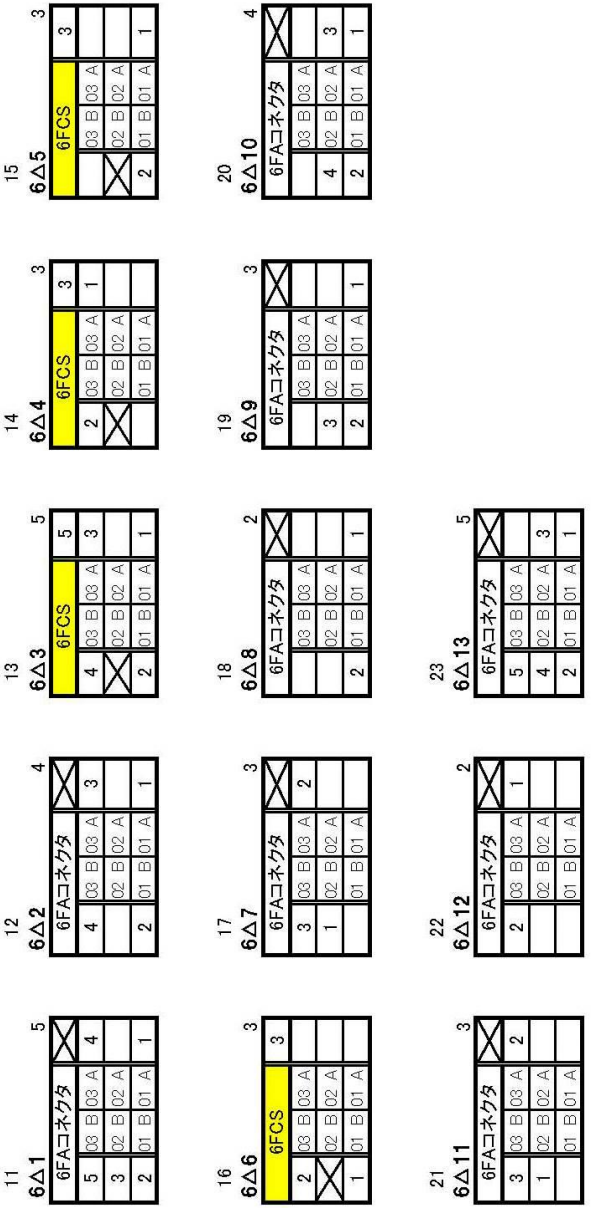
機能概要 ---------- 4

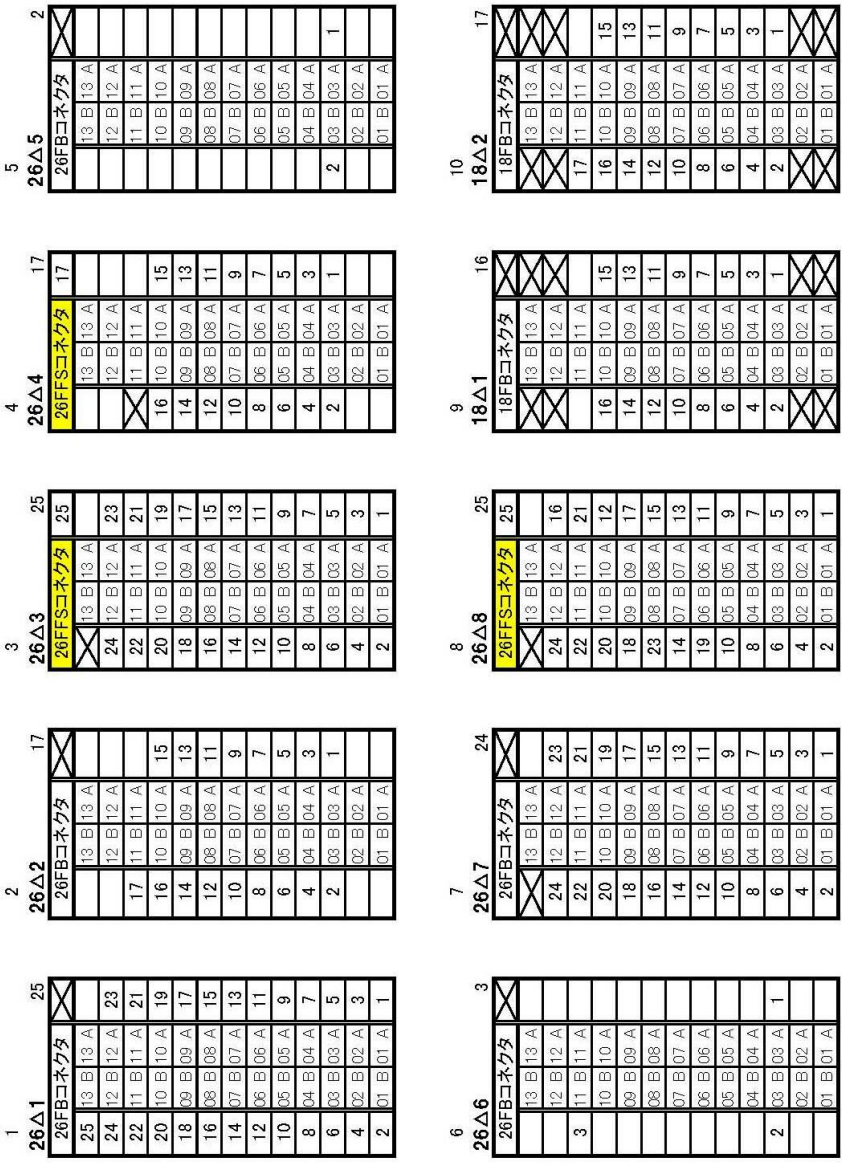
操作方法 ---------- 5

結果表示の例 ---------- 6

カスタム用 FLT ケーブルの利用について------ 7

パターン表 ---------- 8

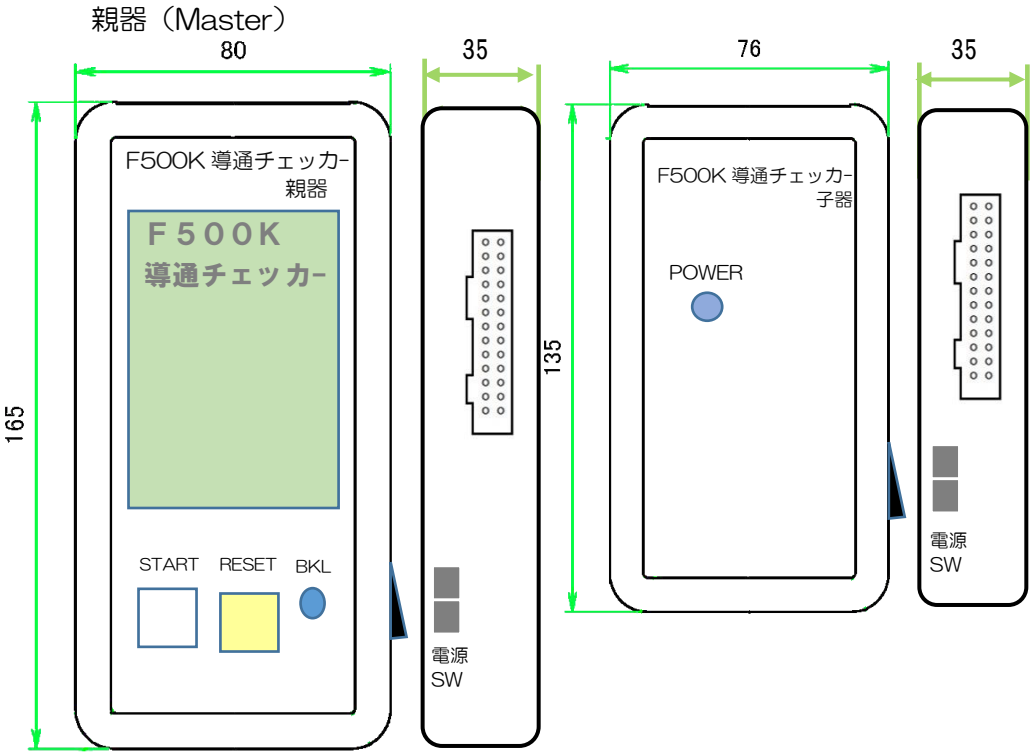




【概要】

6F と 26F コネクタ（コネクタシールドも含む）のみについてケーブルの導通（結線）をチェックする試験器です。
従来の F500 導通試験機のように、コネクタパターンを設定せず、自動認識でケーブルの導通チェックを行う試験器です。

【外観図】



親器

- 電源 SW　－　親器の電源スイッチ
- START　－　試験スタートスイッチ
- RESET　－　リセットスイッチ
- BKL　－　バックライトボタン

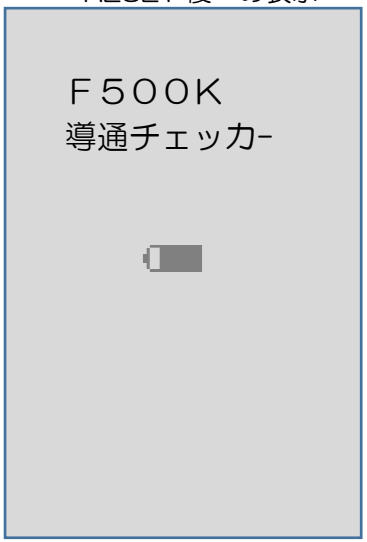
【仕様】

	親器（Master）	子器（Slave）
大きさ	165x80x35	135x76x35
重さ（電池含まず）	315ｇ	180ｇ
電源	単三x４本	単三x２本
消費電流	約　180mA	約　35mA
連続使用時間	約 12 時間	約　35 時間
電源状態の確認方法	初期画面に残量表示	POWER ランプ

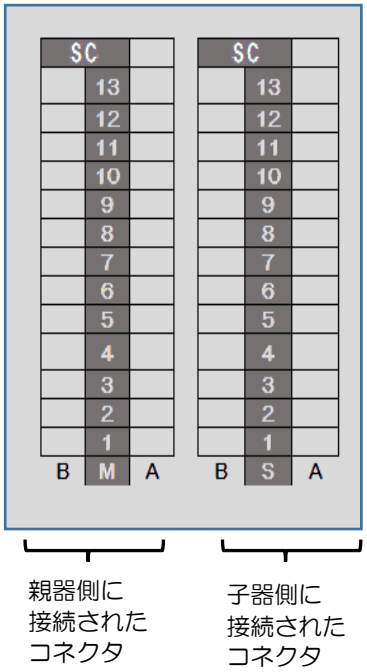
本体　－　親器　，　子器
付属　－　説明書
　　確認用 FLT ケーブル　・　カスタム用 FLT ケーブル

【画面表示】

電源 ON の時
または
RESET 後　の表示



スタートボタン押下後



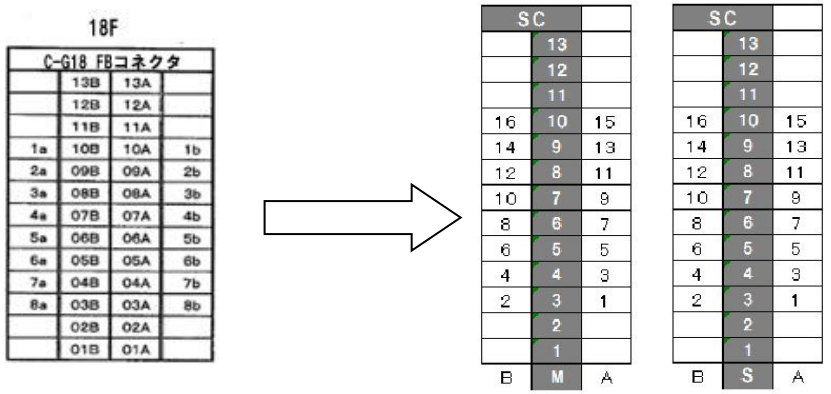
親器側に
接続された
コネクタ

子器側に
接続された
コネクタ

【パターン表】

F500K 導通チェッカーは正常な場合は、すべて次ページ移行のパターン表の×△××が表示されますので下記の読み替え表に置きかけて確認をお願い致します。

P6 の【結果表示の例】の例で示した通り
両端が 18F パターンで作成されたケーブルを F500K 導通チェッカーで
試験すれば下記の通りです



18△01　　18△01

［　パターン読み替え表　］

26△01　→　26E , 26Z
26△02　→　26J , 26F
26△03　→　26L
26△04　→　26M
26△05　→　26*07
26△06　→　26*08
26△07　→　26*13

18△01　→　18I , 18F , 26K’

6△01　→　6A , 6*10 , 6*16
6△02　→　6B , 6*15
6△03　→　6C
6△04　→　6E
6△05　→　6G
6△06　→　6H
6△07　→　6*03 , 6*09
6△08　→　6*04 , 6*05
6△09　→　6*01 , 6*06
6△10　→　6*08
6△11　→　6*09
6△12　→　6*11

*は注パターン
△は読み替えパターン

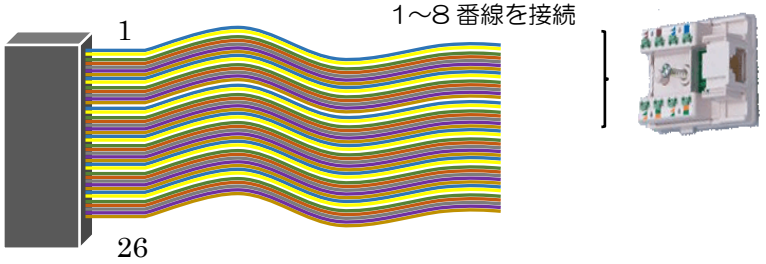
【カスタム用 FLT ケーブルの利用について】

F26,18,F6 コネクター以外で導通を確認したい場合に、カスタムとして任意に作成して使用できるように添付致しました。

参考例

RJ45 モジュラ-

1～8 番線を接続



D-SUB コネクタ

1～9 番線を接続

【機能概要】

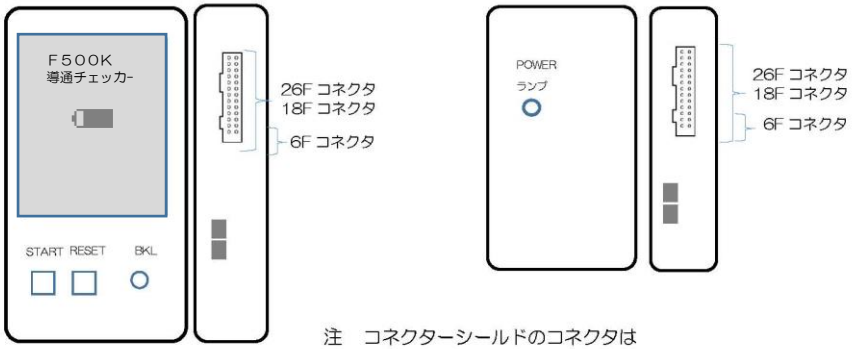
F500K 導通試験器は親器（Master）のコネクタ絶対番地 1A から順番に信号を送出し子器で受信した絶対番地を親器に返信しているため、LCD 表示の番号は、芯線番号順でなくケーブルの芯線対照順となります。下図のとおりです。

	親器側コネクタ	子器側コネクタ	試験結果
①	18F C-G18 FBコネクタ	18F C-G18 FBコネクタ	18F-18F と 26K’-26K’は下記のとおり同じ結果となります 18△01　18△01
②	26K’ C-G26 FBコネクタ	26K’ C-G26 FBコネクタ	**注** 18△1　は　パターン表記
③	18F C-G18 FBコネクタ	26K’ C-G26 FBコネクタ	18△01

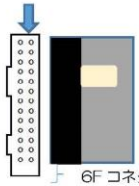
① ,②の場合ケーブル芯線番号の付線は異なっているが親器の絶対番号 1A よりチェックが開始され、親器-絶対番号 3A と 子器-絶対番号 3A が同じ芯線が付線されており、最初に確認できるため芯線として　1　と表示される。
以下同様にして 16 まで 16 本が対照線として確認される。

注 ： パターンについては、パターン表を参照

【操作方法】

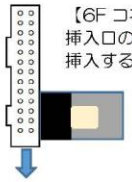


注　コネクターシールドのコネクタは
しっかりと挿入しないと、認識されない場合があります。



【26F コネクタの場合】
挿入口の**上部にあてがって**
挿入すること。

6F コネクタのための
スペースがあるます。



【6F コネクタの場合】
挿入口の**下部にあてがって**
挿入すること。

6F コネクタは
ガードホールがあるため
どこでも挿入可能できるので
注意願います

1）START、RESET　ボタンについて

ⅰ）親器、子器　とも　右側面にコネクタ挿入口があり、該当のコネクタを挿入。
ⅱ）コネクタは、26F、6F 兼用となっています。
ⅲ）電源 SW で、上記の初期画面を表示していますので、START ボタンを
　　押すことで、試験結果表示に代わります。
　　再度、STRAT　ボタンを押すことで、再試験を実施し、結果を再表示します。
ⅳ）RESET ボタンを押すことで、電源を ON した状態に戻ります。
ⅴ）親器、子器とパターンデータが一致した場合は、1 秒のブザー音で通知。
ⅵ）親器、子器のどちらかまたは両方パターンデータが認識できない場合は破裂音で通知。

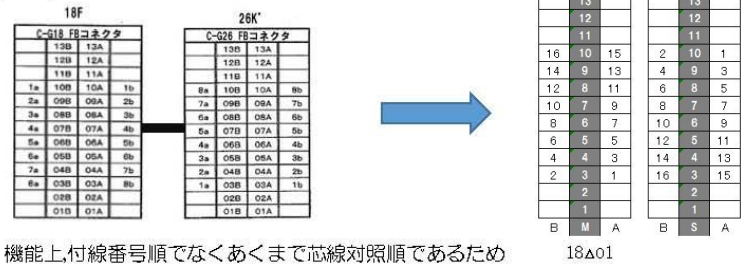
2）BKL ボタンについて

ⅰ）押している時だけ、LCD のバックライトが点灯します。
　　ただし、押している間は、約 100m 以上の消費電流が流れるため、むやみに使用すると
　　連続起動時間が短くなります。

【結果表示の例】

F500K に登録されているパターンは　パターン表を参考願います。

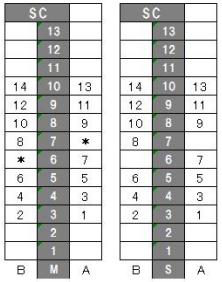
1）　正常の場合



18△01

注意　機能上,付線番号順でなくあくまで芯線対照順であるため
18△01　と　パターンなし　で表示されます。

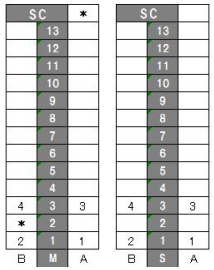
2）　正常でない場合



✱マークは混線箇所になります。

断線の場合は、表示されません

3）　特殊な場合



特殊なパターンの場合。

6△02